



今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

平成13年4月6・7・8日 「らんフェスタ赤平」



第1回目のらんフェスタが開催されたのは、平成13年（2001年）4月6日から8日の3日間。このときの会場は、今とは違った格的な「らんのイベント」となり、このときからすでに道内各地の様々ならんが出演されました。市内はもとより、札幌圏からもたくさんの方々が会場に足を運びました。

当時では、北海道で初となる本格的な「らんのイベント」となり、このときからすでに道内各地の様々ならんが出演されました。市内はもとより、札幌圏からもたくさんの方々が会場に足を運びました。

今となっては「北海道の春は赤平から」のキャッチフレーズがお馴染みのらんフェスタ。当時、会場に足を運んだ方も、赤平から春を感じてくれたのでは、

さて、第1回目の開催ではどういました。市内はもとより、札幌圏からもたくさんの方々が会場に足を運びました。

今となつては「北海道の春は赤平から」のキャッチフレーズがお馴染みのらんフェスタ。当時、会場に足を運んだ方も、赤平から春を感じてくれたのでは、

ような催しがあつたのか。次は中身について少しお話します。今年の迎え花「尾長鳥」を作成を振り返りたいと思います。

元奥祥華氏は、第1回開催でも、元奥祥華氏は、第1回開催でも、迎え花の作成、フラワー・アレンジメント講習会の講師をなさっていました。また、今年も講演会の講師をされました世界らん展組織委員会副幹事長江尻光二氏。第1回は光二氏の父である江尻光一氏が講演をなさっていました。

妻が旭川出身ということもあります。昨年、豊里小だけだつたワーカー隊員募集を見つけました。正直、まだ様子をつかみきれていませんので、これから市内を巡つていきたいと思います。

妻が旭川出身ということもあります。昨年、豊里小だけだつたワーカー隊員募集を見つけました。正直、まだ様子をつかみきれていませんので、これから市内を巡つていきたいと思います。

「地域おこし協力隊」の新メンバー、鷹賀亮（たかのはしまこと）さん（タカ隊員）を紹介します。

秋田出身です。仙台の専門学校でインテリアと建築を学んでいました。また、今年も講演会の講師をされました世界らん展組織委員会副幹事長江尻光二氏。第1回は光二氏の父である江尻光一氏が講演をなさっていました。

妻が旭川出身ということもあります。昨年、豊里小だけだつたワーカー隊員募集を見つけました。正直、まだ様子をつかみきれていませんので、これから市内を巡つていきたいと思います。

妻が旭川出身ということもあります。昨年、豊里小だけだつたワーカー隊員募集を見つけました。正直、まだ様子をつかみきれていませんので、これから市内を巡つていきたいと思います。

地域おこし協力隊通信



◎まずは自己紹介を

◎1年目を振り返って

お店づくり、レンタルボックス、商店街通信、イベントなどなど、あつという間に過ぎました。

タビュームです。

◎赤平を知ったきっかけは？

市内向けだつた商店街通信を

◎赤平を知ったきっかけは？

市内向けだつた商店街通信を

◎今年やつてみたいことは？

今年は市外へ発信していきたいと思います。個人的にはもつと

◎今年やつてみたいことは？

今年は市外へ発信していきたいと思います。個人的にはもつと

◎皆さんにメッセージを

お気軽に「カナエール」へ遊びに来てください。

◎皆さんにメッセージを

お気軽に「カナエール」へ遊びに来てください。



New Face タカ隊員と ヒデ隊員

将来は赤平で居酒屋を開きたいくつともあります。

ビューレで、次回以降、協力隊員からの発信でお届けします。

将来は赤平で居酒屋を開きたいくつともあります。

ビューレで、次回以降、協力隊員からの発信をお届けします。